

1. 多摩地域の検案医確保困難地域の増加



※平成28年度実績

医師会	検案数	H28実施医師数	実施医師の年齢	不在エリアの主な検案対応医師会等
稲城市医師会	0	0		多摩市医師会 慈恵医大(持込検案)等
府中市医師会	0	0		北多摩、小金井市医師会 慈恵医大(持込検案)等
日野市医師会	0	0		慈恵医大 八王子市医師会
調布市医師会	0	0		小金井市医師会 慈恵医大(持込検案)等
三鷹市医師会 ※杏林大学除く	0	0		小金井市医師会 杏林大(持込検案)等
東久留米市医師会	87	1	80歳代	
西東京市医師会	113	1	80歳代	
小金井市医師会	817	1	50歳代	
武蔵野市医師会	98	1	60歳代	

※持込検案…要解剖となる可能性の高い遺体について警察署が大学に持ち込み、大学が検案を実施

【参考】登録検案医数及び検案実施医師数の推移

	(単位;人)		
	H26	H27	H28
登録検案医数	53	54	53
うち実績のある医師数	44	36	32

・検案を実施する主要医師が80歳代、又は1名のみの地区医師会が引き続き存在している。

2. 現在の取組

日野・三鷹

日野警察署管内については平成28年4月より東京慈恵会医科大学、三鷹警察署管内については平成29年1月より杏林大学の協力を受け、法医による検案を行っている。

立川

平成19年12月より「多摩地域検案活動事業」として、立川警察署管内(立川市の一部を除く地域及び国立市全域)の検案を、監察医務院が実施している。

【立川】検案・解剖実績

年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
検案数	354	398	338	394	361	358	348
解剖数	50	64	47	48	47	29	43
解剖率	14.1%	16.1%	13.9%	12.2%	13.0%	8.1%	12.4%

出典:東京都監察医務院事業概要
※23区解剖数には医務院以外での司法解剖等は含まない。

【日野】検案・解剖実績

	平成27年度(試行) ※12月~3月	平成28年度	平成29年度 ※8月まで
検案数	50	211	82
解剖数	6	33	10
解剖率	12.0%	15.6%	12.2%

※慈恵医大法医学教室の医師が日野警察署管内にて検案を行った数を基に算出

【三鷹】検案・解剖実績

	平成28年度 ※1~3月	平成29年度 ※8月まで
検案数	18	30
解剖数	0	2
解剖率	0.0%	6.7%

※杏林大法医学教室の医師が三鷹警察署管内にて検案を行った数を基に算出

3. 当面の対応(案)

引き続き、専門性の高い医師による検案体制を拡充

①慈恵医大による巡回検案

- 登録検案医が不在、あるいは80歳代以上で1名のみの地域について、大学による巡回検案の地域を拡大していく。
- 日野警察署、三鷹警察署管内に続き、府中市・稲城市の検案について、東京慈恵会医科大学(狛江市)の協力を得ることにより、実施を検討する。

【参考】各警察署管内の検案数

	(件)		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度
府中	351	335	369
多摩中央	271	291	279

②監察医務院及び杏林大学

- 検案体制が整い次第、他のエリアにも拡大を図っていく。

③23区の大学との協力関係を構築

- 平成28年度に実施した法医学教室へのアンケート調査に基づき、多摩地域の検案への協力について、個別のヒアリングも含め、多摩地区での検案の可能性について、意見交換を行っていく。

4. 今後について

- 巡回検案の地域を拡大することにより、検案医確保困難地域を解消していく。
- 23区の大学へのヒアリングを年度内までに実施。意見交換を踏まえ、大学への委託方法等を協議会において検討していく。
- 登録検案医として求められる要件について、具体的に検討していく。